

A photograph of a young girl, a woman, and a man in a white lab coat (likely a doctor) smiling and interacting. The woman is behind the girl, and the doctor is on the right, looking towards them.

第109期 株主通信

BUSINESS REPORT

2023年4月1日～2024年3月31日

証券コード：4543

未来志向で医療現場に新たな価値を提供する

この度、代表取締役社長CEOに就任しました鮫島光です。

株主の皆様には、日頃よりテルモグループの事業活動にご理解、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症という未曾有のパンデミックを経て、医療を取り巻く環境は大きく変化しています。その課題やニーズは多岐にわたり、新たな付加価値の提供が求められています。同時に、これからの企業はいわゆるマルチステークホルダー経営への要請の高まりを受け、持続可能な成長を実現する必要があります。一方でインフレ等マクロ経済の動向や地政学的リスクなど、事業環境の不透明さも格段に増しております。

今年度は現行の5カ年成長戦略「GS26」の折り返し地点にあたります。私は前社長の佐藤が築き上げたGS26の基本骨格を堅持しつつ、新たな時代へ柔軟に対応すべく変革や打ち手を着実に実行し、テルモがこれからも「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念をグローバルに果たせるよう努めてまいる所存です。「デバイスからソリューションへ」というGS26の戦略コンセプトが、その大きなカギを握っていると思います。医療を取り巻く様々なニーズに対して、テルモの持つ製品やサービスを創造的に組み合わせることで、課題解決に向けた提案力の強化を図ってまいります。ユーザーの皆様から信頼され、選ばれるブランドになることが事業の拡大およびアソシエイトのやりがいにもつながって

いくものと信じています。並行して、カーボンニュートラルをはじめとした幅広い社会ニーズへの対応や、DE&Iに代表されるすぐれた組織文化の醸成などにも尽力してまいります。また国際的なマクロ環境の変化により生じるリスクに対して、安定供給の維持およびコスト競争力強化に向けて、グローバルのオペレーションの最適化を進めてまいります。

テルモは2021年に創業100周年を迎えました。長い歴史の中で培った弊社の強み・伝統を活かしつつ、変えてはいけないもの、変えなくてはならないものをしっかりと見極めて、未来志向で経営のかじ取りを行ってまいりたいと思います。

株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長CEO

鮫島 光



GS26の確実な実行、さらなるプラスαの成長

5カ年成長戦略「GS26」の基本方針は変更せず、収益改善策の継続、高収益事業や製品への注力、内部開発の強化など、確実に実行していきます。

その上で、プラスαの一手を積極的に模索し、さらなる成長を目指します。

GS26の概要 (FY22 - FY26)

中長期ビジョン

デバイスからソリューションへ

ソリューション化のフォーカス：3つのD

Delivery

高度な疾患治療における高付加価値な生体アクセス・デリバリー

Digital

患者さんの長期的なQOL向上を目指す疾病アプローチ (ペイシエント・ジャーニー)

Deviceticals™

革新的デバイスによる薬剤治療効果の最大化

サステナビリティ経営に向けて

企業理念の実現のため、事業活動を通じてCSV/ESGに取り組みます。

CSV — 社会価値創造

- 医療技術・サービスの普及、医療アクセスの向上
- 一人ひとりの人生に寄り添う医療の提供
- 持続可能な医療システムの共創

ESG — 価値創造を支える基盤

- E：カーボンニュートラルの実現 (FY40)
- S：製品・サービスの品質と安全性、安定供給の確保
- G：取締役会の実効性向上

財務目標

成長性

売上成長率

1桁台後半

(5年間平均)

継続的な成長により「売上1兆円」を視野に

収益性

営業利益率

20%以上

(FY26時点)

※調整前営業利益をもとに算出

資本効率性

ROIC

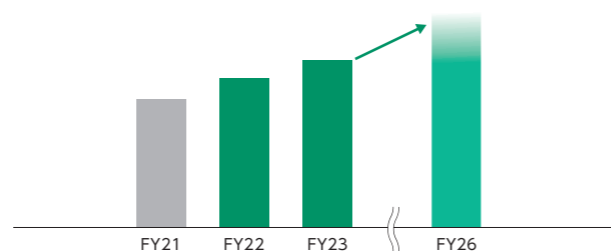
10%以上

(FY26時点)

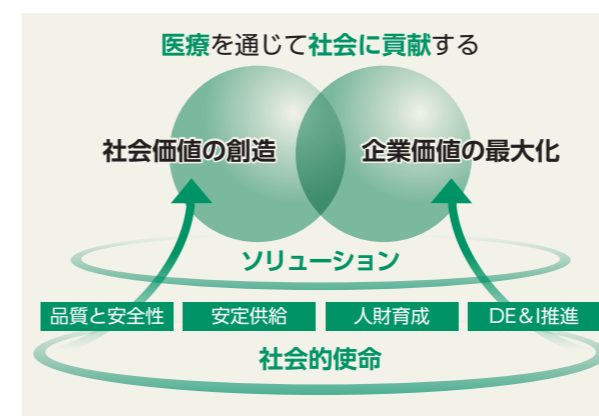
ROEは10%以上

売上収益

直近のFY23は、売上収益、営業利益、当期利益の全てにおいて過去最高となりました。心臓血管のTIS、ニューロ、血管、そして血液・細胞テクノロジーの血液センター向けビジネスが二桁伸長を達成し、売上収益を牽引しました。



新経営体制で目指すこと



テルモの社会的使命：「医療の進化」と「患者さんのQOL向上」への貢献

低侵襲な血管内治療の普及や、最適治療の提供に向けた個別化医療の促進、またDX推進による医療の効率化など、現場に寄り添ったソリューションの創出はテルモの本分です。「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、この医療課題の解決を志す取り組みこそがテルモの事業そのものであり、私たちは、事業活動を通して社会価値創造、ひいてはテルモの企業価値最大化を目指し、飽くなき挑戦を続けます。

変えてはいけないもの：品質と安全性、安定供給

テルモのゴールは、提供する医療ソリューションの品質と安全性、安定供給が確保できて初めて達成されます。医療従事者が安心して医療・治療に専念できる環境をお届けします。

変えていくもの：医療課題への革新的かつ包括的解決に向けた対応のさらなる強化

多様化するニーズにスピード感をもって応えるため、内部開発を中心に、オープンイノベーションを促進しつつ、スタートアップ企業との協業も含むあらゆるリソースを活用しイノベーションを加速させていきます。既存市場におけるデバイス開発に留まらず、デバイスとデジタルを用いたサービス、トレーニング等を組み合わせ、新たな着想をもって新しい市場・価値・ソリューションの創出と医療機器の枠組みを超えた事業展開にもチャレンジしていきます。

実現に向けて：人財育成、DE&I推進

戦略を実行し、実現するのは人です。だからこそ、人財への投資を惜みず、経営戦略の一環として人財育成に尽力していきます。アソシエイトの能力を最大限に発揮できる環境づくりやDE&I推進にも真剣に取り組んでいきます。

FINANCIAL INFORMATION

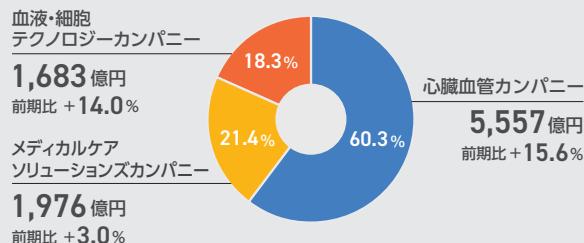
業績報告

2024年3月期末の業績報告

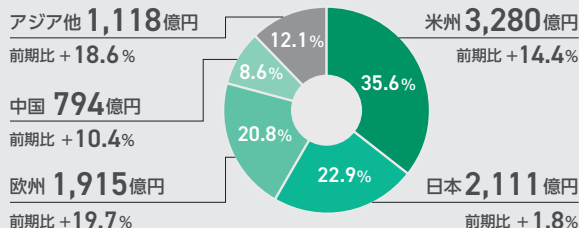
売上収益 **9,219** 億円 前期比 **+12.4%**

営業利益 **1,401** 億円 前期比 **+19.4%**

カンパニー別売上収益^{※1}

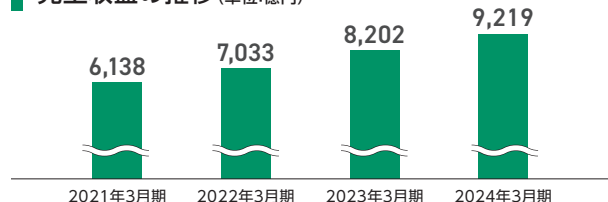


地域別売上収益^{※1}



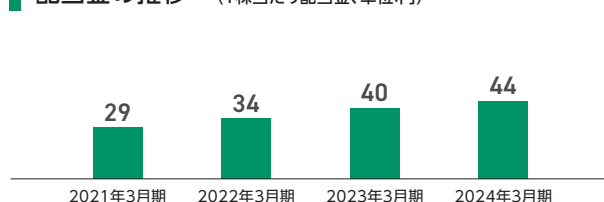
※1 構成比率は小数点第2位以下を四捨五入しており、合計が100%とならない場合があります。

売上収益の推移 (単位:億円)



売上収益は、前期比12.4%増の9,219億円となりました。海外は、TIS(カテーテル)事業や血液センター向けビジネスの需要が拡大、為替も寄与し、前期比16.0%の増収となりました。日本は、2022年度に譲渡したホスピタルケアソリューション事業の栄養食品の売上収益減少がありました。輸液関連製品や製薬企業との提携ビジネスであるファーマシューティカルソリューション事業の売上が好調に推移し、前期比1.8%の増収となりました。

配当金の推移^{※2} (1株当たり配当金、単位:円)



当社グループは、高い利益性と持続的な成長を確保するため、利益の再投資を適正かつ積極的に進め、企業価値の一層の増大を図っていきます。これは、株主の皆様への利益に適うものであり、投資価値の増大につながるものと考えております。株主の皆様への利益配分につきましては、安定した増配に加えて、自己株式取得による還元も活用し、総還元性向として50%水準を目標としてまいります。

2025年3月期業績見通し

売上収益 **9,800** 億円

営業利益 **1,650** 億円

年間配当金(予想)^{※2} **26** 円

※2 当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2021年3月期から2024年3月期につきましては、当該株式分割前の配当金を記載しております。なお、2025年3月期の年間配当金(予想)につきましては、当該株式分割後の影響を考慮して記載しております。

株主総会決議内容

2024年6月26日に開催された当社第109期定時株主総会において、以下のとおり決議されました。

第1号議案 剰余金処分の件

本件は、原案どおり承認可決され、期末配当金は、1株につき22円(中間配当金22円と合わせ、年44円)と決定いたしました。

第2号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く)8名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、高木俊明、広瀬和紀、国元規正、西秀訓および小澤敬也の5氏が再選され、鮫島光、長田敏彦および小木曾麻里の3氏が新たに選任されました。なお、西秀訓、小澤敬也および小木曾麻里の3氏は、社外取締役であります。

第3号議案 補欠の監査等委員である取締役2名選任の件

本件は、原案どおり承認可決され、坂口公一、古杉裕亮の両氏が選任されました。なお、坂口公一、古杉裕亮の両氏は、補欠の社外取締役であります。

なお、本定時株主総会終了後開催の取締役会の決議により、次のとおり代表取締役が選定され、それぞれ就任いたしました。

代表取締役会長 高木 俊明
代表取締役社長CEO 鮫島 光

期末配当金のお支払いについて

第109期期末配当金は、同封の「期末配当金領収証」によりお支払いいたしますので、払渡期間中(2024年6月27日～2024年7月31日)にお近くのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、口座振込ご指定の方には、「期末配当金計算書」および「配当金振込先ご確認」のご案内を同封いたしましたので、ご確認ください。

株主優待のご案内

ご希望者全員に「2025年テルモカレンダー」をお送りします

同封はがき、または下記ウェブサイトからご応募いただいた2024年3月31日時点の株主様に、「2025年テルモカレンダー」をお送りします。(2024年12月頃発送予定)。やさしい色彩と洗練されたタッチの作品が国内外で人気のイラストレーター木内達朗氏を起用した四季の風景のカレンダーです。 ※写真は2024年版です

応募サイトURL:

<https://www.2.enq-plus.com/enq/terumocal2025/form/>

お問い合わせ 0120-993-637 (平日10～17時)



株式についてのご案内

- ◎事業年度 4月1日から3月31日まで
- ◎株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- ◎同連絡先(郵便物送付・電話照会) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話:0120-232-711(フリーダイヤル)
- ◎単元株式数 100株



テルモ株式会社X公式アカウント @terumo_jp
テルモの最新情報を発信しています。ぜひご覧ください。

テルモは、第一次世界大戦の影響で輸入が途絶えた体温計を国産化するために、北里柴三郎博士をはじめとする医師らが発起人となり、1921年に設立されました。なお、北里博士は、新千円札の肖像に採用されました。



写真提供:学校法人北里研究所 北里柴三郎記念博物館

テルモ株式会社(証券コード:4543)

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷二丁目44番1号 電話:03-3374-8111(代表)

<https://www.terumo.co.jp>

